

第2章

各教科等における 学びのつながり

授業展開例

幼保小の接続に取り組んでいる
または取り組もうとしている先生方からは

幼児期の遊びを通した学び
が、小学校の各教科等の学び
にどのようにつながっているの
か、分からない。



スタートカリキュラムが終わって
からも、幼児期の経験や学びを
生かしながら、授業を展開して
いくにはどうしたらいいの？



幼児期の経験や学びが一人一
人違い、身に付けるべき各教科
等の内容も決まっているので、
できることには限界がある。



など様々な声が聞こえてきます。そんな先生方にこそ、参考にしていただきたい資料です。

幼児教育と小学校教育の特徴には、様々な違いがあるように見えますが、

子供の学びは連続していて、一人一人の資質・能力を育てていくことには変わりはありません。

また、幼児期において皆が同じ経験をしてきているわけではありませんが、その多様な経験を引き出して共有するなど一人一人の経験を生かし組み合わせた授業を展開することで、よりよい学びを生み出していくことにつながります。

第2章では、「遊びを通した学び」と「小学校の各教科等における単元等」へのつながりについて、実際の授業展開例としてご紹介します。

なお、本資料は、幼児教育施設で日々大切にされている子供たちの遊びの中に学びの芽生えが育まれていることや、その芽生えが小学校以降の教育で更に伸ばされていくことにつながりを分かりやすく示すことを目指したものであり、本資料で示す活動そのものの実施を求めるものではありません。

幼児期の興味や関心に基づいた多様な体験は小学校以降の各教科等の学習だけでなく、生活の基盤にもつながっています。本稿第2章では、幼児教育施設での

遊びや小学校の授業とのつながりに焦点を当ててご紹介いたします。

言うまでもなく、幼児教育施設での遊びや小学校での授業は、各園・小学校の子供たちの様子や地域の実態を十分考慮しながら展開することが重要です。幼児教育と小学校教育のつながりを深め、子供一人一人が、自分自身の力をよりよく発揮しながら成長するために、先生方一人一人が目の前の子供の姿に応じた保育や授業を展開する際のご参考としてください。

